

⑤研究指導・研修等に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
国際研修「紙の保存と修復」(修05)	保存修復科学センター	79
無形文化遺産に関する助言(無)	無形文化遺産部	80
文化財の材質に関する調査と援助・助言(保)	保存修復科学センター	80
文化財の修復及び整備に関する調査・助言(修)	保存修復科学センター	81
美術館・博物館等の環境調査と援助・助言(保)	保存修復科学センター	83
文化財の虫菌害についての調査・助言(保)	保存修復科学センター	85
保存担当学芸員研修(保05)	保存修復科学センター	86
連携大学院教育(共)	保存修復科学センター	89

国際研修「紙の保存と修復」(⑤修05-10-5/5)

目 的

海外で所蔵されている絵画や書跡、冊子などの紙文化財は、日本と違った気象条件で長期間保存されてきたために、損傷を持った作品が多い。また、担当者の不慣れな取り扱いによって作品を破損する場合もある。日本美術品の保存・修復・活用を行うには、材料・技法などの基礎的な理解と基本的な取扱いや修復に関する実技研修が必要であるが、海外でそのような機会を得ることは困難である。本研修は、紙文化財に関する保存修復の講義および演習を通して、研修参加者に、紙文化財に関わる基礎知識を伝えるものである。

概 要

研修日程：2010（平成22）年8月30日（月）～9月17日（金）

研修場所：東京文化財研究所、その他

研修対象：紙文化財の保存と修復を担当する学芸員、修復技術者、科学者および保存担当者

研修参加者（10名）：

DIDIK Joanna（アイルランド国立公文書館・アイルランド）

HASHIM Fauziah（マレーシアイスラム美術館・マレーシア）

HOEVEL Claire（インディアナポリス美術館・USA）

KOCSIS Marika（クイーンヴィクトリア博物館&美術館・オーストラリア）

KOKOĆ Joanna（ニコラウスコペルニクス大学トルン・ポーランド）

MAZZARINO Sara（大英図書館・UK）

NUÑEZ GAITAN Angela（バチカン図書館・バチカン市国）

STORACE Maria Speranza（文書書籍遺産修復保存研究所・イタリア）

XU Wenjuan（上海博物館・中国）

CHARLES Catherine（ナミュール大学モレトゥスプランタン図書館・ベルギー）

研修内容

<講義、その他>

8月30日：オリエンテーション、自己紹介。8月31日：岡泰央「装幀概念」。9月1日：加藤雅人「紙の基礎」。9月2日：早川典子「日本絵画修復に用いられる接着剤について」。9月13日：赤尾栄慶「紙の文化財をめぐって―古写経を中心に―」。9月15日：池田寿「日本の紙文化財の保存と修理」。9月17日：ディスカッション。

<実 習>

8月31日～9月3日、9月13日～16日：卷子修復（虫損直し～卷子装の仕立て）。和綴じ冊子作製。屏風、掛軸の取扱。

<スタディーツアー>

9月6日～10日：岐阜県美濃市（長谷川和紙工房見学。美濃和紙の里会館、観覧および和紙の手漉き。美濃史料館観覧。名古屋市（徳川美術館）美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区見学）。京都市（国宝修理装幀師連盟工房見学）。

報告書 1件

『International Course on Conservation of Japanese Paper, 2010』 東京文化財研究所 35p 11.1

研究組織

○川野邊渉、加藤雅人、早川典子（以上、保存修復科学センター）

無形文化遺産に関する助言 (⑤無)

無形文化遺産の保存・伝承・活用等に関する各種委員会等へ出席し、以下の指導・助言を実施した。(宮田繁幸・高桑いづみ・飯島満・俵木悟・菊池理予)。

- (1) 文化庁伝統文化課への助言(無形文化遺産保護条約への対応、ユネスコカテゴリー2センターに関して) 3件
- (2) (財)伝統文化活性化国民協会への助言(全国神楽協議会に関して) 3件
- (3) (財)日本青年館への助言(全国民俗芸能大会に関して) 4件
- (4) 日本芸術文化振興会への助言(芸術文化振興基金助成事業に関して) 3件
- (5) 静岡県教育委員会への助言(無形民俗文化財記録作成事業に関して) 3件
- (6) 日本放送協会への助言(伝統芸能放送に関して) 1件
- (7) 日本ユネスコ協会連盟への助言(プロジェクト未来遺産運動に関して) 3件
- (8) 外務省広報文化交流部国際文化協力室への助言(無形文化遺産保護条約第5回政府間委員会に関して) 1件
- (9) 早稲田大学演劇博物館への助言(映像演劇学連携研究拠点事業に関して) 1件
- (10) 神田鍛冶町1丁目町会への助言(地域伝統文化総合活性化事業に関して) 4件

文化財の材質に関する調査と援助・助言 (⑤保)

(1) 文化財の材質調査

様々な文化財資料について、その材料や彩色を科学的に調査し、化学組成や化学的構造を明らかにした。可搬型の機器を用いて、文化財資料が置かれている場所での現地調査も実施した。調査終了後には報告書を作成し、分析依頼元へ提出した。

(資料名)	(所蔵者/依頼者)
金銅仏	文化庁
日本画	静嘉堂文庫美術館
漆工品	静嘉堂文庫美術館
日本画	MIHO MUSEUM
日本画	名古屋市
塑像	創価大学
染織品	女子美術大学
染織品	名古屋大学
ガラス、玉製品	沖縄県
金銅製法具	文化庁
日本画	広島市立大学
漆工品	広島県立美術館
金属製品	文化財建造物保存技術協会
古文書	東洋文庫
唐紙	坂田墨珠堂

(2) X線透視撮影による構造調査

X線透視撮影を用いて文化財資料の構造を調査し、資料の制作技法や劣化の状態を明らかにした。

	(資料名)	(所蔵者／依頼者)
絵画	油彩画	ポーラ美術館
	屏風	サントリー美術館
	古墳壁画	文化庁
工芸品	刀剣	日本美術刀剣保存協会
	漆工芸	静嘉堂文庫美術館
	建築部材	建長寺
埋蔵文化財	銅鏡	東京大学総合研究博物館
	法具	石清水八幡宮
	楽器	能楽師
	楽器	武蔵野音楽大学楽器博物館
	楽器	萩博物館
	楽器	土佐山内家宝物資料館
	楽器	三井記念美術館
	楽器	彦根城博物館
	服飾品	杉野学園衣裳博物館

文化財の修復及び整備に関する調査・助言 (⑤修)

- ・ 国宝高松塚古墳壁画の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、加藤雅人、早川典子、森井順之)
石室解体後修理施設にある高松塚古墳壁画の保存修復について指導助言を行った。
- ・ 特別史跡・キトラ古墳壁画の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、加藤雅人、早川典子、森井順之)
キトラ古墳の壁画取り外しや取り外し壁画片の保存修復に関する指導助言を行った。
- ・ 厳島神社の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、北野信彦、早川典子、森井順之)
厳島神社大鳥居の修復に向けて、現地での材料選定など指導助言を行った。
- ・ 国宝白杵磨崖仏の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、森井順之、早川典子、朽津信明)
次期保存修理工事にに向けて、磨崖仏表面の劣化防止策に関する指導助言を行った。
- ・ 国宝都久夫須麻神社本殿の蒔絵修理に関する指導助言 (北野信彦)
国宝都久夫須麻神社本殿の蒔絵修理に関する基礎調査と施行についての指導助言を行った。
- ・ 国宝三十帖冊子の修理材料選択に関する指導助言 (早川典子)
国宝三十帖冊子に使用されている接着剤の修復に関する指導助言を行った。
- ・ 重要文化財・霧島神宮本殿の修復に関する指導助言 (川野邊渉、早川典子、森井順之)
霧島神宮本殿の彩色修復に関して、材料選定や環境についての指導助言を行った。
- ・ 史跡大分高瀬石仏の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、森井順之)
仏龕表面の劣化状態及び周辺環境に関する調査結果より、有効な保存修復方法について指導助言を行った。
- ・ 史跡大分元町石仏の保存修復に関する指導助言 (川野邊渉、森井順之)
塩類風化による磨崖仏劣化に関して、原因究明に関する調査を実施した。
- ・ 重要文化財・0.5 t 及び 3 t スチームハンマーの修復後モニタリングに関する指導助言 (森井順之)
近代化遺産の保存環境モニタリングに関する助言を行った。

- ・重要文化財大谷磨崖仏の保存環境に関する指導助言（森井順之）
- ・日光二社一寺の世界遺産環境モニタリングに関する指導助言（川野邊渉、森井順之）
文化財周辺環境モニタリング手法を日光市に移転し、調査結果整理に関する助言を行った。
- ・重要文化財岩崎邸金唐革紙に使用された塗料の分析（中山俊介、北野信彦、早川典子）
金唐革紙に塗布されている塗料に関してその履歴、塗料の種類について分析を行った。
- ・重要文化財三河島鉄扉に使用されていた塗料の分析（中山俊介、早川典子）
鉄扉に塗布されていたと推定された塗料について分析を行い新規塗料に関して助言を行った。
- ・史跡佐渡金銀山遺跡の保存管理計画に関する指導助言（中山俊介）
佐渡金銀山遺跡の保存管理計画策定に関する助言を行った。
- ・史跡葦山反射炉の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
葦山反射炉の劣化したレンガの修復手法に関する助言を行った。
- ・史跡萩反射炉の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
萩反射炉の劣化した石及びレンガに関する修復手法の助言を行った。
- ・重要文化財旧手宮鉄道施設の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
旧手宮鉄道施設の保存手法（特に耐震対策）について助言を行った。
- ・重要文化財旧日本郵船小樽支店の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
旧日本郵船小樽支店の壁面の石の劣化に関して修復手法について助言を行った。
- ・天野山金剛寺所蔵重要文化財大日如来像座像の修理に関する指導助言（川野邊渉、早川典子）
- ・東京都指定文化財候補地の史跡整備に関する指導助言（北野信彦）
- ・京都市中出土歴史資料の保存修復及び分析に関する指導助言（北野信彦）
京都市中で出土した各種の歴史的な資料の保存修復及び分析に関する指導助言を行った。
- ・函館市立博物館所蔵革製上衣クリーニングに関する指導助言（早川典子）
- ・鳥取県指定有形民俗文化財「長谷寺の絵馬群」の保存修復に関する助言（加藤雅人）
絵具等が剥離・剥落している絵馬の保存修復方法と安置環境に関する助言を行った。
- ・東京都中央区所蔵「震災橋梁復興図面」の保存修復に関する助言（加藤雅人）
- ・広島東照宮唐門部材表面の顔料調査に関する指導助言（北野信彦）
- ・熊本博物館所蔵赤色顔料付着瓦の調査に関する指導助言（北野信彦）
- ・松江歴史館整備事業に伴う近世出土漆製品の整理に関する指導助言（北野信彦）
- ・高知城下町西広小路遺跡出土漆製品の整理及び分析に関する指導助言（北野信彦）
- ・有岡城跡・伊丹郷町遺跡出土漆器の調査に関する指導助言（北野信彦）
- ・日本橋の修復に関する指導助言（川野邊渉、中山俊介）
日本橋の修復手法に関する指導助言を行った。
- ・陸上自衛隊入間基地修武台記念館の収蔵環境に関する指導助言（中山俊介）
修武台記念館の収蔵品の保存環境についての指導助言を行った。
- ・みちのく北方漁船博物館の保存環境に関する指導助言（中山俊介）
みちのく北方漁船博物館の保存環境に関する指導助言を行った。
- ・京都市埋蔵文化財研究所に対する出土歴史資料の保存処理に関する現地指導（北野信彦、吉田直人）
京都市内出土資料の文化財科学的な調査研究と保存処理に関する現地指導を行った。
- ・金鹿苑寺不動堂石室内「不動像石仏」の保存修理工事に関する指導助言（北野信彦）
風化が著しい石室内における石造文化財の保存修理工事に関する指導助言を行った。
- ・銀閣磁照寺観音閣建造物外観塗装の保存修理工事に関する指導助言（北野信彦）
銀閣寺観音閣に外観塗装されていた漆塗料と白色顔料の文化財科学的調査に関する指導助言を行った。
- ・本光寺松平忠雄公墓所出土漆工品の保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）
本光寺松平忠雄公墓所出土漆工品の保存、修復、管理に関する指導助言を行った。

- ・瑞巖寺本堂欄間の彩色材料の文化財科学的調査に関する指導助言（北野信彦）
瑞巖寺本堂における桃山文化期の欄間彩色材料の調査と保存修復に関する指導助言を行った。
- ・松浦市鷹島海底遺跡からの出土資料の保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）
鷹島海底遺跡で検出された元寇関連の出土資料の保存修復作業に関する指導助言を行った。
- ・養源院襖絵修復に係る指導助言（早川典子）
合成樹脂の使用されていた重要文化財養源院襖絵の修復に関して指導助言を行った。
- ・神奈川県指定重要文化財・英勝寺仏殿蛙股の修復に関する指導助言（森井順之）
木材腐朽菌により劣化した蛙股について、修復材料・技法に関する助言を行った。

美術館・博物館等の環境調査と援助・助言（⑤保）

国宝・重要文化財などの指定品および東京国立博物館収蔵資料の借用に関して館内環境調査を行い、報告書を作成・提出した。

北海道	北海道立開拓記念館		八幡市立松花堂美術館
青森	是川縄文館収蔵庫 縄文時遊館	大阪	堺市立みはら歴史館 逸翁美術館
宮城	仙台市博物館	兵庫	兵庫県立考古博物館
山形	米沢市上杉博物館	奈良	大和文華館
福島	磐梯山慧日寺資料館		葛城市歴史博物館
群馬	太田市立新田荘歴史資料館	島根	荒神谷博物館
埼玉	埼玉県立歴史と民俗の博物館		出雲弥生の森博物館
福井	おおい町立郷土史料館		島根県立古代出雲歴史博物館
山梨	山梨県立博物館		島根県立美術館
長野	松本市美術館 伊那創造館	高知	高知県立歴史民俗資料館 土佐山内家宝物資料館
静岡	静岡市美術館 掛川市立二の丸美術館	福岡	九州歴史資料館
京都	大谷大学博物館	長崎	壱岐市立一支国博物館

現地調査（14館）

仁和寺・九州国立博物館・熊本城天守閣・九州歴史資料館・函館市縄文文化交流センター・松山市考古館・北海道開拓記念館・皇學館大学佐川記念神道博物館・大妻女子大学生活科学資料館・法隆寺・長谷寺（鳥取県）・仙台市博物館・熊本市現代美術館・絵金蔵

また北海道開拓記念館など、全国128館の新設既設美術館・博物館等文化財展示収蔵施設に対して環境改善に関する相談を受け、助言を行った。これらの館については各館ごとに環境調査ファイルを作成して調査を行っている。

⑤研究指導・研修等 Area26

北海道	北海道開拓記念館 有珠善光寺 伊達市噴火湾研究所 函館市縄文文化交流センター 遠軽町埋蔵文化センター		
青森	縄文時遊館 是川縄文館収蔵庫	福井	新潟市歴史博物館 金沢能楽美術館 石川県立美術館 七尾美術館 金沢21世紀美術館 福井県陶芸館 おおい町立郷土資料館
岩手	奥州市教育委員会 花巻市博物館 盛岡市歴史文化施設	山梨	山梨県立美術館 松本市美術館 伊那市創造館 松本市美術館 飯田市美術博物館 安曇野ちひろ美術館 信濃美術館
宮城	石巻文化センター 仙台市博物館 東北歴史博物館	長野	伊那市創造館 松本市美術館 飯田市美術博物館 安曇野ちひろ美術館 信濃美術館
秋田	秋田県立美術館 秋田市千秋美術館	静岡	静岡市美術館 MOA美術館 静岡市立登呂博物館 掛川市二の丸美術館 三島市郷土資料館 静岡県立中央図書館
山形	米沢市上杉博物館		
福島	磐梯山慧日寺資料館 福島県文化財センター白河館		
栃木	宇都宮美術館		
群馬	太田市立新田荘歴史資料館 善勝寺 館林美術館 人間国宝宝刀匠大隅俊平記念美術館	三重	朝日町歴史博物館 松阪市文化財センターはにわ館 皇學館大学佐川記念神道博物館 パラミタミュージアム 三重県立博物館
埼玉	埼玉県立歴史と民俗の博物館 所沢市役所		
千葉	総南博物館 東山魁夷記念館 千葉県立中央博物館分館海の博物館 君津市立久留里城址資料館	滋賀	多賀町立博物館 滋賀県立安土城考古博物館 東近江市埋蔵文化財センター 甲賀市水口歴史民俗資料館
東京	東京都美術館 東京書籍「東書文庫」 五島美術館 国立科学博物館 立正佼成会開祖記念館 新宿区立新宿歴史博物館 一橋大学社会科学古典資料センター 明治神宮 根津美術館 国土館大学イラク古代文化研究所 すみだ北斎美術館 東洋文庫 外務省外交史料館 羽田空港内施設 宮内庁書陵部	京都	立命館大学国際平和ミュージアム 京都文化博物館 大谷大学博物館 三千院円融蔵 京都服飾文化研究財団 佛教大学宗教文化ミュージアム 龍谷大学ミュージアム 八幡市立松花堂美術館 霊山歴史館
		大阪	大阪歴史博物館 誉田八幡宮 高槻市しろあと歴史館 堺市博物館 堺市立みはら歴史博物館 逸翁美術館
神奈川	鎌倉市鐔木清方記念美術館	兵庫	たつの市立埋蔵文化財センター 兵庫県立美術館分館 原田の森ギャラリー
新潟	新潟市美術館		

奈良	兵庫県立考古博物館 東大寺総合文化センター 葛城市歴史博物館 東大寺法華堂 大和文華館 唐招提寺	福岡	九州歴史資料館 北九州市立自然史・歴史博物館 福岡市美術館 南琳寺
島根	荒神谷博物館 出雲弥生の森博物館 島根県立古代出雲歴史博物館 島根県立美術館	佐賀	武雄市教育委員会 武雄市図書館・歴史資料館
岡山	勝央美術文学館	長崎	壱岐市立一支国博物館
山口	阿弥陀寺・天満宮収蔵庫 山口県立萩美術館・浦上記念館 毛利博物館 南明寺	熊本	熊本市現代美術館 熊本県立美術館 天草キリシタン館
高知	高知県立歴史民俗資料館 土佐山内家宝物資料館 絵金蔵 やなせたかし記念館	大分	別府市教育委員会 大分県立歴史博物館
		宮崎	都城島津伝承館
		鹿児島	上野原縄文の森 鹿児島県歴史資料センター黎明館
		沖縄	沖縄県立博物館・美術館 浦添市美術館

文化財の虫菌害についての調査・助言 (⑤保)

文化財の虫菌害への個々の対応、もしくは防除方法全般について問い合わせを受け、調査や助言を行った。
(木川りか、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、石崎武志)

静嘉堂文庫美術館	東京藝術大学美術館
上杉神社	茨城県立歴史館
三千院	神戸大学経済経営研究所
沖縄県公文書館	東山魁夷記念館
仙台市博物館	森美術館
金沢21世紀美術館	北海道開拓記念館
東京都現代美術館	文京区森鴎外記念館
法隆寺	神戸市博物館
齋宮歴史博物館	新潟市美術館
国立科学博物館	女子美術大学美術館
入間基地 修武台記念館	都城島津伝承館
豊島区役所	仁和寺
渋沢史料館 晩香蘆	熊本市現代美術館
岡山県千足古墳	韓国国立民俗博物館
大阪歴史博物館	貨幣博物館
沖縄県立博物館	群馬県文化財保護課
奈良国立博物館	千葉県立中央博物館

⑤研究指導・研修等 Area26, 27

松山市考古館
太陽の船復元研究所
日本芸術院
宮内庁書陵部
出光美術館
浦添市美術館
智美術館
鹿児島県歴史資料センター

東京大学 経済学部資料室
(財) アンパンマンミュージアム振興財団
国立国会図書館
福井県立恐竜博物館
君津市立久留里城址資料館
秋田県教育庁
和歌山県立近代美術館

保存担当学芸員研修 (⑤保05-10-5/5)

(1) 保存担当学芸員研修

保存担当学芸員研修 日程：2010（平成22）年7月12日（月）～23日（金）、参加者数：33名
近年、各地方において博物館・美術館等の数が増加し、施設が近代化されるとともに、資料の保存への関心が高くなってきている。しかしながら、保存科学の知識を習得しようとしても適切な学習の場や教材がないのが現状である。そこで本研究所では、資料の保存に携わる学芸員がその職務に必要な知識と技術を持てるよう研修を行おうとするものである。この趣旨のもと、第27回保存担当学芸員研修を開催した。

7月12日（月）

石崎武志「保存科学 総論」
佐野千絵「保存環境 各論 一文化財の材質・構造一」
朝賀浩（文化庁）「保存環境 各論 一文化財公開施設の設計一」
木川りか「生物被害 概論」

7月13日（火）

犬塚将英・吉田直人「保存環境各論・実習 一温湿度一」
佐野千絵「保存環境 各論 一室内汚染一」
木川りか「生物被害 各論 一文化財害虫一」
小峰幸夫（文化財虫害研究所）・木川りか「生物被害 実習 一文化財害虫同定一」

7月14日（水）

木川りか「生物被害 各論 一カビ一」
山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）・木川りか「生物被害〈実習〉一カビの除去一」
山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）「劣化と保存 各論 一日本画一」
三浦定俊「博物館の設備 一防災・防犯一」
木川りか「生物被害 実習 一トラップデータ解析一」

7月15日（木）

吉田直人「保存環境 各論 一光と劣化・照度基準一」
吉田直人・犬塚将英「保存環境 実習 一室内汚染の測定法と環境調査一」
神庭信幸（東京国立博物館）「東京国立博物館における講義と見学」

7月16日（金）

山口孝子（東京都写真美術館）「劣化と保存 各論 一写真一」
三浦定俊「調査手法 各論 一構造調査一」
ケーススタディテーマ打ち合わせ

7月20日（火）

犬塚将英「温湿度実習解説」

土屋裕子（東京国立博物館）「劣化と保存 各論 一修復材料一」

加藤雅人「劣化と保存 各論 一紙一」

早川泰弘「保存環境 各論 一大気汚染の影響一」

早川泰弘「調査手法 各論 一材質調査（無機物）一」

7月21日（水）

「環境調査実習 一ケーススタディー」（於：袖ヶ浦市郷土博物館）

7月22日（木）

木島隆康（東京藝術大学教授）「劣化と保存 各論 一油彩画一」

吉田直人「調査手法 各論 一材質調査（有機物）一」

高妻洋成（奈良文化財研究所）「劣化と保存 各論 一考古資料一」

石崎武志・佐野千絵・木川りか・吉田直人・犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月23日（金）

北野信彦「劣化と保存 各論 一漆工品一」

石崎武志「劣化と保存 各論 一屋外の文化財一」

研修参加者名：阿部能久、石崎尚、稲葉理恵、井野功一、大道和人、大湾ゆかり、河上健二、工藤茂博、来見田博基、小井川理、小池浩平、木暮和代、坂本亮太、重松知美、篠崎陽子、新藤淳、吹田直子、関裕典、蔦村和雄、釣井龍秀、新名一仁、畑智子、藤崎温美、増山真一郎、松沢寿重、松本直子、豆谷浩之、溝田直己、宮尾素子、武藤美紀、湯田祥子、吉田恵理、増記隆介

所属：大田原市那須与一伝承館、目黒区美術館、袖ヶ浦市郷土博物館、茨城県近代美術館、滋賀県立安土城考古博物館、沖縄県公文書館、国立国会図書館、姫路市立城郭研究室、鳥取県立博物館、神奈川県立歴史博物館、群馬県教育委員会、市川市東山魁夷記念館、和歌山県立博物館、北九州市立美術館、財団法人東洋文庫、国立西洋美術館、京都府立丹後郷土資料館、長崎歴史文化博物館、呉市海事歴史科学館、真言宗智山派定福寺、みやざき歴史文化館、京都文化博物館、埼玉県立歴史と民俗の博物館、豊橋市美術博物館、新潟市美術館、元離宮二条城事務所、大阪歴史博物館、愛媛県立道後公園湯築城資料館、(財)林原美術館、松本市美術館、若松城天守閣郷土博物館、静岡市文化振興財団、文化庁文化財部美術学芸課

(2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2010年6月21日（月）、会場：東京文化財研究所、参加者：97名

1981（昭和56）年より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は600人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

プログラム・講師

吉田直人「照明用光源の今後一白熱灯とLEDの動向一」

西田尚子（根津美術館副館長）「新しい照明を完成させるまで一照明家との共同作業」

間瀬創「文化財公開施設における微生物調査」

佐野千絵「木材等試験法の提案一桐箱、床材等の有機酸放散能一」

(3) 資料保存地域研修

博物館・美術館などの文化財公開施設における資料保存は、保存を担当する学芸員の努力によっていることはもちろんであるが、学芸員以外の館長、事務官や警備員、監視員、空調機器の管理・保守作業員など、博物館の様々な業務に携わる多くの人々の理解がなければ、円滑に進まない。本研修は文化財保護に関する

⑤研究指導・研修等 Area27

知識を、文化財公開施設に勤務するできるだけ多くの職員に短い日数で学んでもらうため、各地の博物館協議会などの協力を得て1998（平成10）年度より開催するものである。

〔第15回〕 日程：2010（平成22）年12月13日（月）、会場：高知県立歴史民俗資料館

共催：高知県教育委員会、参加者：76名

プログラム・講師

朝賀浩（文化庁）「展覧会に伴う借用品の管理について」

三浦定俊（公益財団法人文化財虫害研究所理事長）「文化財の保存環境と生物被害防止法研究の歴史」

佐野千絵「新しい生物被害防除法—IPMの考え方と実際」

岡本桂典（高知県立歴史民俗資料館学芸課長）「県立歴史博物館における生物被害対策」

(4) 博物館資料保存論対策講座

2011（平成23）年3月8日（火）～3月10日（木）、会場：東京文化財研究所、参加者：81名

2009（平成21）年4月30日に公布された「博物館法施行規則の一部を改正する省令」により、学芸員養成課程において、自然科学的見地に基づいた資料保存や展示環境に関する内容を扱う科目として「博物館資料保存論」（2単位）が新設され、平成24年度より必修となることが決定した。しかし、同課程を持つ大学や短大は300を超える一方、この科目に即応出来るだけの専門性を有する人材は限られているのが現状で、そのため、専門外の教員が担当することになり、講義の構成や内容づくりに戸惑うケースが続出することが予想される。本講座は、このような状況に対応するため、同科目を担当することが決定した教員を対象に、資料保存に関連する講義を行うことにより、必須となる内容についての情報を提供し、開講に向けた準備に役立てることを目的とするものである。

プログラム・講師

3月8日（火）

石崎武志「資料保存総論」

佐野千絵「文化財の材料と構造」

犬塚将英「室内保存環境（温湿度）」

呂俊民「空調のしくみ」

石崎武志「屋外文化財の保存環境」

3月9日（水）

木川りか「害虫防止」

木川りか「カビ防止」

吉田直人「室内保存環境（照明）」

成瀬正和（宮内庁正倉院事務所保存課長）「伝統的保存方法」

早川泰弘「大気汚染の影響」

佐野千絵「室内保存環境（空気汚染）」

3月10日（木）

佐野千絵「防災・防犯」

犬塚将英「梱包・輸送」

早川泰弘「科学調査（材料）」

犬塚将英「科学調査（構造）」

連携大学院教育（⑤共）

東京藝術大学：システム保存学（保存環境学、修復材料学）

1995（平成7）年4月より東京藝術大学と連携して大学院教育を行い、21世紀の文化財保存を担う人材を育成している。システム保存学は、文化財の保存環境を研究する保存環境学講座と保存修復に用いる材料について研究する修復材料学講座の2講座から成っている。各講座3名ずつ研究所所員が連携教員として研究教育指導に当たっている。

開設講座と連携教員

保存環境学講座

連携教授 石崎武志（保存修復科学センター長）

連携教授 佐野千絵（保存科学研究室長）

連携准教授 木川りか（生物科学研究室長）

修復材料学講座

連携教授 川野邊渉（保存修復科学副センター長）

連携教授 中山俊介（近代文化遺産研究室長）

連携准教授 北野信彦（伝統技術研究室長）

助 手 間瀬創（東京藝術大学大学院教育研究助手）

授業および主たる担当教員

保存環境計画論（前期） 佐野千絵 連携教授

修復計画論（前期） 川野邊渉 連携教授

修復材料学特論（前期） 中山俊介 連携教授・北野信彦 連携准教授

保存環境学特論（後期） 石崎武志 連携教授・木川りか 連携准教授

文化財保存学演習（2010年6月8日）

「X線撮影の原理と応用」

会場：東京文化財研究所

担当：石崎武志、佐野千絵 連携教授



授業風景